

株主の皆様へ

**TAKADA**

**第68期 中間報告書**

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

**株式会社 高田工業所**

**68**

証券コード: 1966

# 株主の皆様へ

人間創造

Human

技術創造

Technology

事業創造

Project



## 新「技・能」創造

人を育て、技術を磨き、事業を創る。



代表取締役社長  
高田 寿一郎

### ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第68期中間期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の業績をとりまとめましたので、その概要をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等により、景気減速が懸念されたものの、経済再生の実現に向けた各種政策効果のもと、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの関連するプラント業界におきましては、グローバル経済に対応するためのお客様の国内設備の海外移転や統廃合が進む中、熾烈な価格競争が継続いたしました。

このような状況下、当社グループといたしましては、平成24年度から平成26年度までを実施期間とする『中期経営計画』の最終年度として、各事業の基本方針・事業戦略の方向性は維持していくとともに、外部環境の変化のスピードに対応していくため、新たな重点施策である「エンジニアリング技術の強化・拡大」、「施工体制の再構築」、「本社管理業務の効率化」を追加することで、構造的変革への取り組みを推進中であります。

その結果、当中間期の売上面につきましては、化学プラントの定修工事に加え、製鉄プラント、電力設備等の建設工事が増加いたしました結果、連結売上高は234億7千4百万円(前年同期比20.8%増)となりました。

また、損益面につきましては、熾烈な価格競争による受注価格の下落が継続したものの、売上高が増加したことに加え、工事運営の効率化、コストダウンの推進による原価率の低減に努めてまいりました結果、連結営業利益は9億5千3百万円(前年同期比369.3%増)、連結経常利益は9億4千7百万円(前年同期比363.7%増)、連結中間純利益は5億8千4百万円(前年同期比503.1%増)となりました。

今後につきましては、『中期経営計画』の基本方針であります「TAKADAグループとして将来の飛躍に向け、攻めの姿勢で拡大を志向する」のもと、「新たな事業分野の拡大」、「付加価値の向上」、「利益体質の定着」を図り、「高付加価値提供型企業」を目指していくとともに、経営基盤となるリスク管理体制強化のために、「安全・品質管理の徹底」、「コンプライアンス経営の実践」、「内部統制の強化」に努めていくことで、数値計画必達に向けて、鋭意努力してまいります所存でございます。

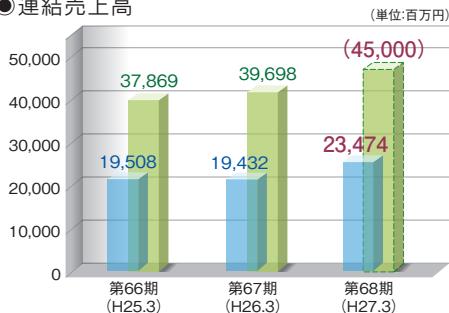
株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

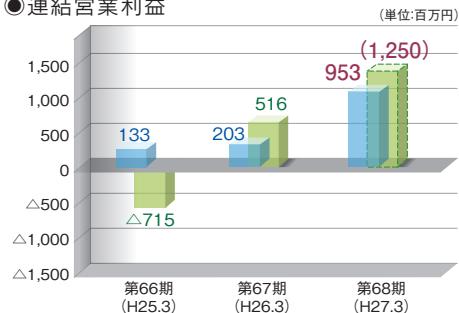
# 決算ハイライト

■ 中間期 ■ 通期

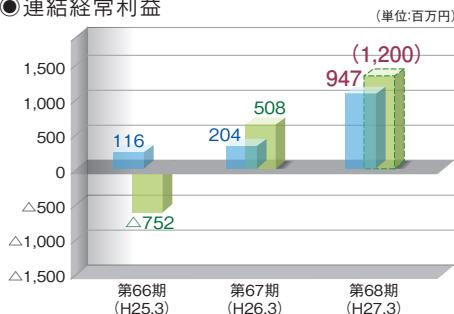
## ● 連結売上高



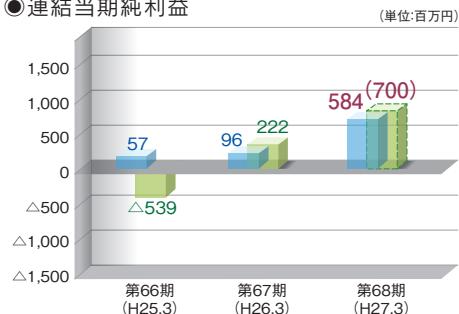
## ● 連結営業利益



## ● 連結経常利益

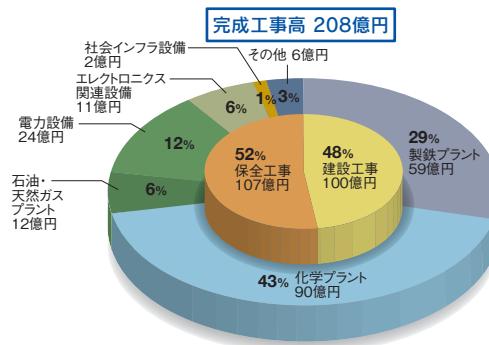
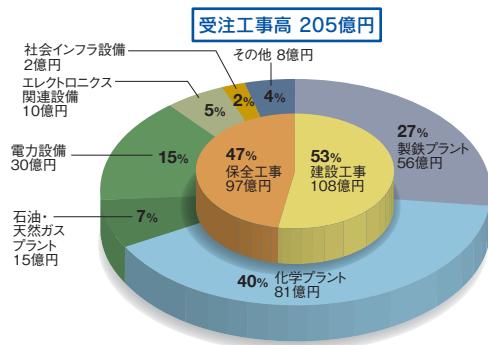


## ● 連結当期純利益

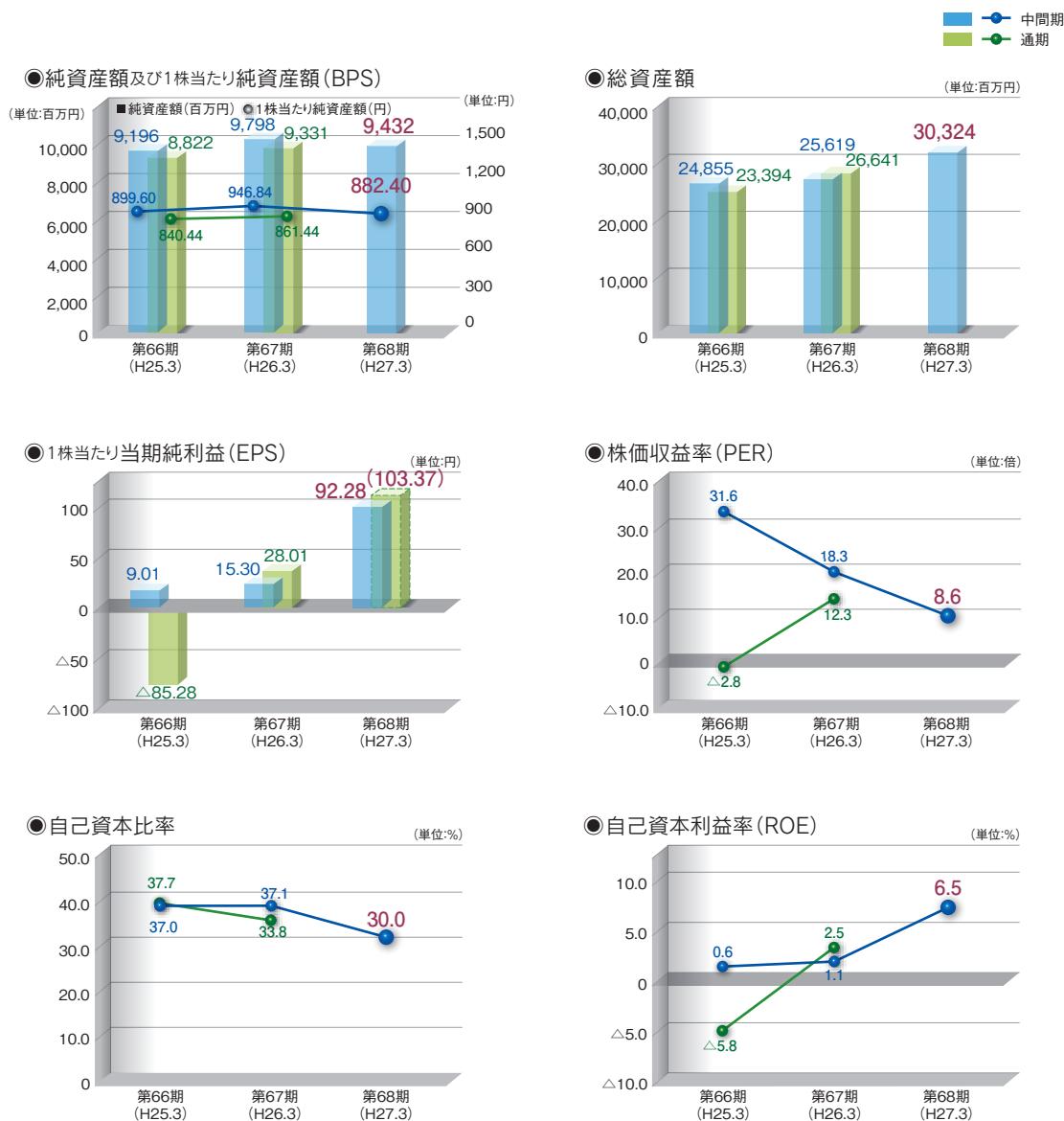


( )内の数値は、平成26年11月6日の第2四半期決算発表時点での予想数値であります。

## ● 工事種別受注工事高・完成工事高(個別) 平成26年4月1日から平成26年9月30日まで



# 経営指標の推移(連結)



( )内の数値は、平成26年11月6日の第2四半期決算発表時点での予想数値であります。

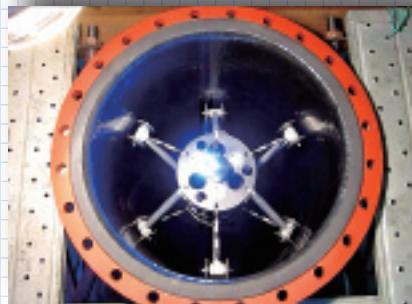
## ■ 新たな技術でお客様に最適なメンテナンスをご提案

### ロボットによる大口径配管の内面検査を可能に

当社では様々な技術・技能を活用し、お客様に最適なメンテナンスをご提供しております。

今般、ファイバースコープ等では検査の難しい大口径配管内の劣化状態を確認するための装置を開発いたしました。これにより、大口径の配管やエルボ、垂直の配管の内面の目視検査が可能となり、メンテナンスの対応可能範囲を拡大することができました。

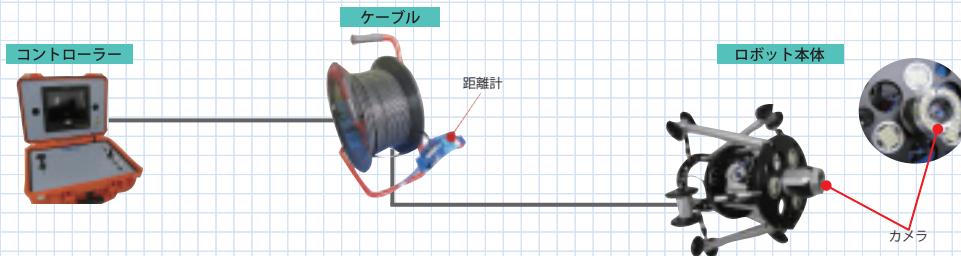
今後もお客様から信頼されるパートナーとして、様々なご要望にお応えできるよう、努力してまいります。



ENDO SERVICE 社との共同開発

## 大口径配管 内面検査用装置

### 《装置構成》



### 《使用例》

- ・ 配管内の劣化状態の確認  
割れ、腐食、内面ライニングの状態、溶接部など
- ・ 配管内洗浄前後の確認

### 《特長》

- ・ 内径 500 mm ~ 650 mm の配管に対応
- ・ 強力小型モーターによる自走式ロボット  
(垂直管内移動が可能)
- ・ 10倍光学ズーム、垂直・水平回転機能、照明付きカメラ
- ・ 手動式フォーカスでピント調整可能
- ・ 動画、静止画を保存

# 計算書類(要旨)

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目		第67期 平成26年3月31日現在	第68期 平成26年9月30日現在
1 資産の部	流動資産	17,854,629	21,333,233
	固定資産	8,787,286	8,991,456
	有形固定資産	7,093,297	7,067,791
	無形固定資産	271,912	236,840
	投資その他の資産	1,422,077	1,686,824
	資産合計	26,641,915	30,324,689
2 負債の部	流動負債	13,946,506	16,902,811
	固定負債	3,364,306	3,989,126
	負債合計	17,310,812	20,891,938
3 純資産の部	株主資本	10,471,275	10,338,026
	資本金	3,642,350	3,642,350
	資本剰余金	66	66
	利益剰余金	6,852,869	6,719,736
	自己株式	△24,009	△24,126
	その他の包括利益累計額	△1,472,547	△1,252,479
	その他有価証券評価差額金	25,675	30,887
	土地再評価差額金	△614,748	△614,748
	為替換算調整勘定	△189,060	△86,261
	退職給付に係る調整累計額	△694,414	△582,356
	少数株主持分	332,373	347,205
	純資産合計	9,331,102	9,432,751
	負債・純資産合計	26,641,915	30,324,689

POINT

### 1 資産の部

資産合計は、303億2千4百万円で前連結会計年度末より、36億8千2百万円増加しました。増加の主な要因は、現金及び預金が4億2千7百万円、未成工事支出金が3億4千6百万円減少したものの、受取手形・完成工事未収入金等が44億8百万円、投資その他の資産の繰延税金資産が2億1千3百万円増加したこと等によるものです。

### 2 負債の部

負債合計は、208億9千1百万円で前連結会計年度末より、35億8千1百万円増加しました。増加の主な要因は、支払手形・工事未払金等が5億7千8百万円、短期借入金が17億2千1百万円、退職給付に係る負債が7億7千4百万円増加したこと等によるものです。

### 3 純資産の部

純資産は、94億3千2百万円で前連結会計年度末より、1億1百万円増加しました。増加の主な要因は、利益剰余金が1億3千3百万円減少したものの、為替換算調整勘定が1億2百万円、退職給付に係る調整累計額が1億1千2百万円増加したこと等によるものです。

# 計算書類(要旨)

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	第67期	第68期
	平成25年4月1日から平成25年9月30日まで	平成26年4月1日から平成26年9月30日まで
<b>完成工事高</b>	<b>19,432,360</b>	<b>23,474,692</b>
完成工事原価	18,022,401	21,240,257
完成工事総利益	1,409,958	2,234,434
販売費及び一般管理費	1,206,856	1,281,280
<b>営業利益</b>	<b>203,101</b>	<b>953,153</b>
営業外収益	58,250	63,782
営業外費用	56,890	68,941
<b>経常利益</b>	<b>204,461</b>	<b>947,995</b>
特別損失	5,936	7,599
税金等調整前中間純利益	198,525	940,395
法人税、住民税及び事業税	55,244	172,272
法人税等調整額	49,995	183,318
少数株主損益調整前中間純利益	93,285	584,805
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,579	649
<b>中間純利益</b>	<b>96,865</b>	<b>584,156</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	第67期	第68期
	平成25年4月1日から平成25年9月30日まで	平成26年4月1日から平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△721,235	△1,881,545
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199,368	△26,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	473,641	1,422,431
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,059	57,228
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△436,902	△428,579
現金及び現金同等物の期首残高	1,786,836	1,924,081
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	465,173	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,815,108	1,495,502

## 個別貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第67期	第68期
	平成26年3月31日現在	平成26年9月30日現在
<b>流動資産</b>	<b>15,193,318</b>	<b>18,786,981</b>
<b>固定資産</b>	<b>9,142,026</b>	<b>9,335,983</b>
有形固定資産	6,602,006	6,563,088
無形固定資産	271,066	235,976
投資その他の資産	2,268,953	2,536,918
<b>資産合計</b>	<b>24,335,345</b>	<b>28,122,965</b>

負債の部		第67期	第68期
		平成26年3月31日現在	平成26年9月30日現在
<b>流動負債</b>		<b>13,395,550</b>	<b>16,520,349</b>
<b>固定負債</b>		<b>2,263,580</b>	<b>3,015,202</b>
<b>負債合計</b>		<b>15,659,130</b>	<b>19,535,552</b>

純資産の部		第67期	第68期
		平成26年3月31日現在	平成26年9月30日現在
<b>株主資本</b>		<b>9,265,287</b>	<b>9,171,273</b>
資本金		3,642,350	3,642,350
資本剰余金		66	66
利益剰余金		5,646,881	5,552,984
自己株式		△24,009	△24,126
<b>評価・換算差額等</b>		<b>△589,072</b>	<b>△583,860</b>
その他有価証券評価差額金		25,675	30,887
土地再評価差額金		△614,748	△614,748
<b>純資産合計</b>		<b>8,676,214</b>	<b>8,587,413</b>
<b>負債・純資産合計</b>		<b>24,335,345</b>	<b>28,122,965</b>

## 個別損益計算書

(単位：千円)

科 目	第67期	第68期
	平成25年4月1日から平成25年9月30日まで	平成26年4月1日から平成26年9月30日まで
<b>完成工事高</b>	<b>17,095,105</b>	<b>20,843,293</b>
完成工事原価	15,884,351	18,822,949
完成工事総利益	1,210,753	2,020,344
販売費及び一般管理費	1,067,650	1,111,739
<b>営業利益</b>	<b>143,103</b>	<b>908,605</b>
営業外収益	116,532	129,364
営業外費用	55,766	64,316
<b>経常利益</b>	<b>203,869</b>	<b>973,654</b>
特別損失	5,936	7,300
税引前中間純利益	197,932	966,354
法人税、住民税及び事業税	35,532	160,473
法人税等調整額	49,729	182,487
<b>中間純利益</b>	<b>112,671</b>	<b>623,392</b>

# 当社グループの概況 (平成26年9月30日現在)



## 当社の概要

名称	株式会社 高田工業所 (TAKADA CORPORATION)
所在地	〒806-8567 北九州市八幡西区築地町1番1号
創業	昭和15年9月26日
設立	昭和23年6月30日
従業員	1,573名
資本金	36億4,235万円
決算期	3月
<b>主要な事業内容</b>	
鉄鋼、化学、石油、ガス、電力、原子力、海洋開発、都市開発、自動車、通信、新素材、バイオテクノロジー、エレクトロニクス、ガラス、食品、医薬品、物流などの各種産業設備および水処理、廃棄物処理その他公害防止設備などに関する設計、製作、据付、配管、電気、計装および保全・修理事業ならびにこれらに関連する事業	

許認可等の状況		
建設業 法	特定建設業許可	土木工業業
		建築工業業
		電気工業業
		とび・土工工業業
		管工業業
	一般建設業許可	鋼構造物工業業
		機械器具設置工業業
		水道施設工業業
		電気通信工業業
		消防施設工業業
電気工業業の業務の適正化に関する法律		通知電気工業業者
労働安全衛生法		各種製造許可（第一種圧力容器、ボイラー、クレーン、デリック、ゴンドラ）
電気事業法		各種溶接の方法の確認
ガス事業法		各種溶接の方法の確認
高圧ガス保安法		大臣認定試験者（管類）の認定
原子炉等規制法		各種溶接の方法の認可

# 当社グループの概況 (平成26年9月30日現在)

## プラント事業

### 高田プラント建設株式会社

設立	昭和56年9月1日
資本金	20,000千円
持株比率	100%
代表取締役社長	田所 弘

### シンガポール・タカダ・インダストリーズ・プライベート・リミテッド

設立	昭和46年2月15日
資本金	S\$9,500千
持株比率	99.9%
代表取締役社長	安武 信一

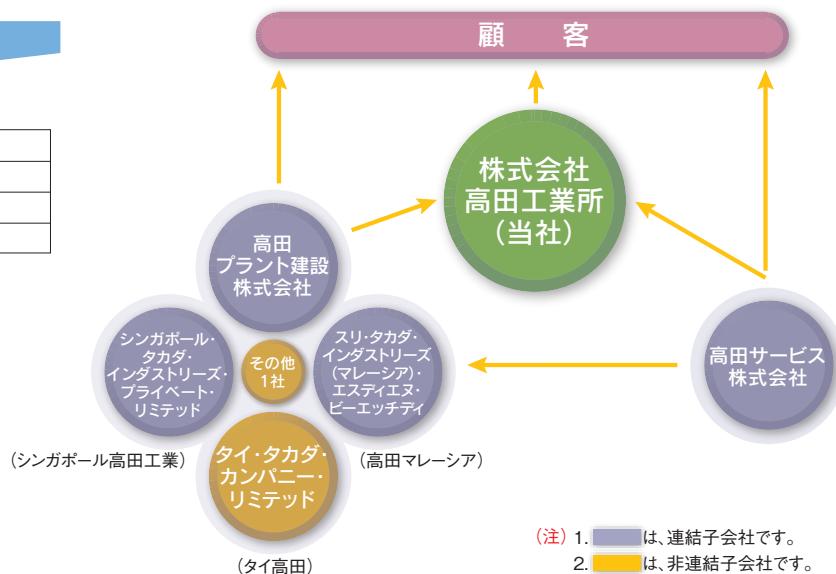
### スリ・タカダ・インダストリーズ(マレーシア)・エスティエヌ・ビーエッチディ

設立	昭和57年9月9日
資本金	RM3,200千
持株比率	55%
代表取締役社長	沖野 健一

## 物品販売・サービス事業

### 高田サービス株式会社

設立	昭和57年4月1日
資本金	65,000千円
持株比率	100%
代表取締役社長	牟田 郁二



## ホームページのご紹介

株主・投資家の皆様に対して、最新のニュースや企業情報、IR情報など、積極的に情報開示を行っておりますので、是非ご活用ください。

<http://www.takada.co.jp/>

# ネットワーク／役員の状況 (平成26年9月30日現在)

## 国内ネットワーク

- 本社
- 支店  
東京、大阪、九州
- 支社  
君津、八幡
- 事業所  
鹿島、京葉、四日市、長浜、  
大阪、坂出、水島、黒崎
- 工場  
本社、君津、四日市、長浜、  
水島、宇部

## 海外ネットワーク

- 海外支店  
東南アジア
- 海外子会社  
シンガポール高田工業、高田マレーシア、タイ高田

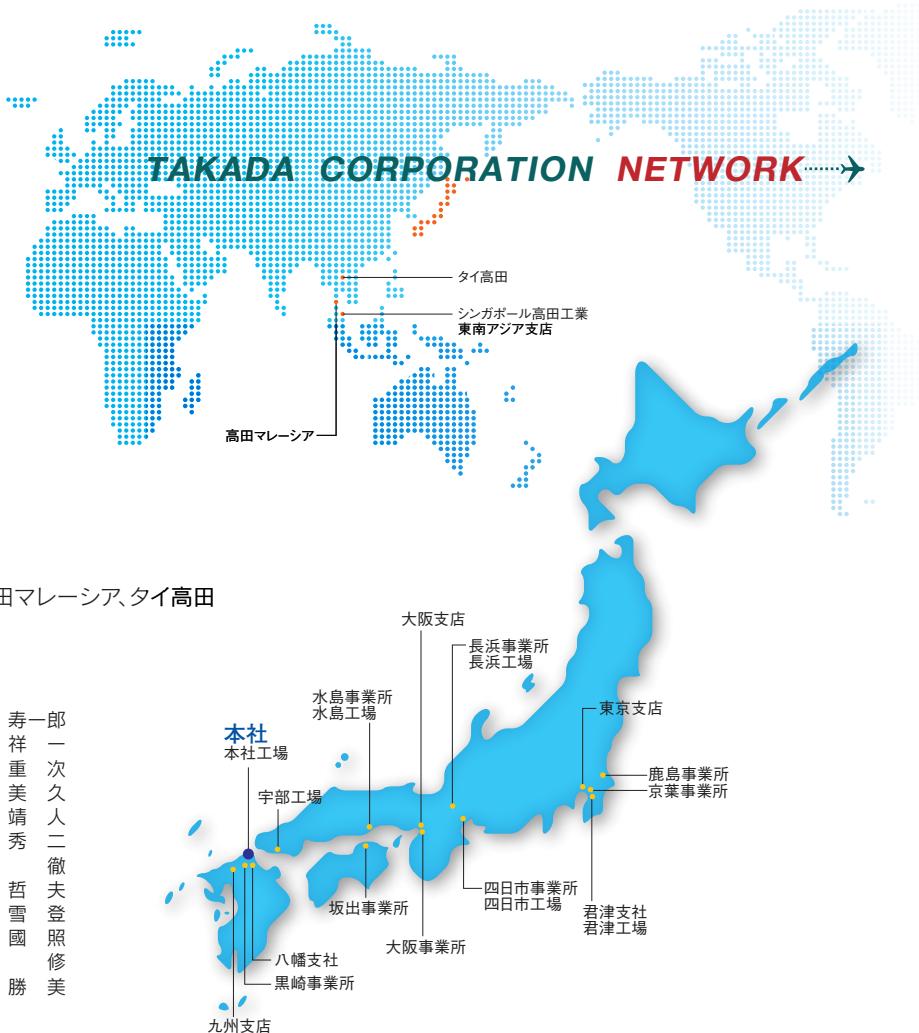
## 役員の状況

### 【取締役・監査役】

代表取締役社長	高田 寿一郎
代表取締役兼専務執行役員	中村 祥一
取締役兼常務執行役員	川藤 重美
取締役兼常務執行役員	山谷 美次
取締役兼常務執行役員	朝長 靖久
取締役兼執行役員	川上 秀二
取締役兼執行役員	川下 徹夫
取締役兼執行役員	吉松 哲雪
常勤監査役	深町 永登
常勤監査役	米永 照修
監査役	小幡 勝
監査役	奥村 美

### 【執行役員】

執行役員	田所 弘
執行役員	丸能 幸介
執行役員	近藤 雄二
執行役員	嘉納 康二
執行役員	長谷川 啓司



# 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

## ●会社が発行する株式の総数

普通株式	41,383,800株
B種株式	5,000,000株
D種株式	4,000,000株
E種株式	1,000,000株

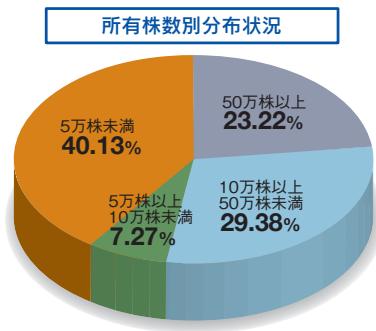
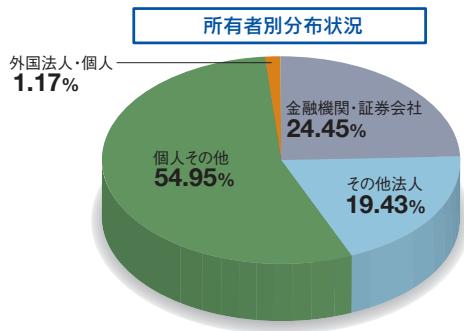
## ●発行済株式総数

普通株式	7,220,950株
B種株式	4,375,000株

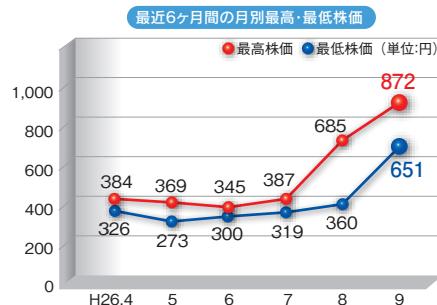
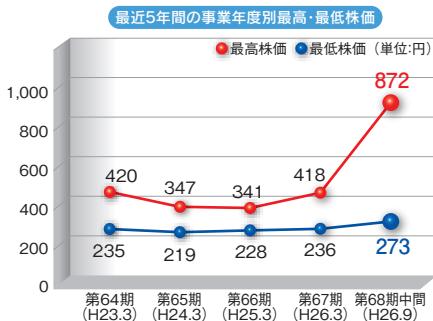
## ●株主数

普通株式	1,728名
B種株式	1名

## ●株式の分布状況(普通株式)



## ●株価の推移



※株価は、平成25年7月15日までは大阪証券取引所市場第二部、平成25年7月16日以降は東京証券取引所市場第二部におけるものです。

## ●大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 福岡銀行	4,687	43.79
西日本興産株式会社	785	7.34
新日鐵住金株式会社	404	3.78
高田工業所社員持株会	396	3.70
株式会社 三菱東京UFJ銀行	281	2.63
株式会社 みずほ銀行	281	2.63
松井証券株式会社	202	1.89
日本証券金融株式会社	141	1.32
蒲生逸郎	100	0.93
三菱UFJ信託銀行株式会社	71	0.67

※1.当社は、自己株式を891,019株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

※2.持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

※3.株式会社福岡銀行が保有する当社株式には、優先株式(B種株式)4,375,000株が含まれております。なお、本優先株式は議決権を有しておりません。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬開催
1単元の株式の数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	フリーダイヤル 0120-232-711
(インターネット ホームページURL)	<a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
公告の方法	電子公告 <a href="http://www.takada.co.jp/">http://www.takada.co.jp/</a> なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 福岡証券取引所

## 株式事務手続き

株式に関するお手続きの方法は以下のとおりとなっております。

### 住所変更などのご連絡について

#### ●証券会社の口座を利用されている株主様

お取引口座のある証券会社にご照会ください。

#### ●特別口座に記録されている株主様

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、法令に従い株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に特別口座を開いたしております。左記の三菱UFJ信託銀行にご照会ください。

### 配当金のお支払について

配当金は、支払開始の日から満3年(除斥期間)を経過しますと、当社定款の定めにより、お支払できなくなりますので、お早めにお受け取りください。未払配当金の支払のお申出は、左記の三菱UFJ信託銀行にご照会ください。

※株券電子化後は、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金の受け取りや、証券会社の口座での配当金の受け取りが可能となりました。詳しくはお取引口座のある証券会社にご照会ください。

### 単元未満株式を保有されている株主様へ

単元未満株式(100株未満の株式)をお持ちの場合、当社に対して以下の請求を行うことができます。

- ・単元未満株式の買取の請求(買取請求)
- ・単元株式に不足する数の株式の買増の請求(買増請求)

お手続きの詳細につきましては、証券会社の口座を利用されている株主様は証券会社に、また、特別口座に記録されている株主様は三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

# TAKADA

TAKADA CORPORATION

株式会社 高田工業所

〒806-8567 北九州市八幡西区築地町1番1号

<http://www.takada.co.jp/>



# R100

●古紙配合率100%再生紙を使用しています。